

# 湯つたりたたみ

## 施工要領書



極東産機株式会社

コンシューマ事業部門

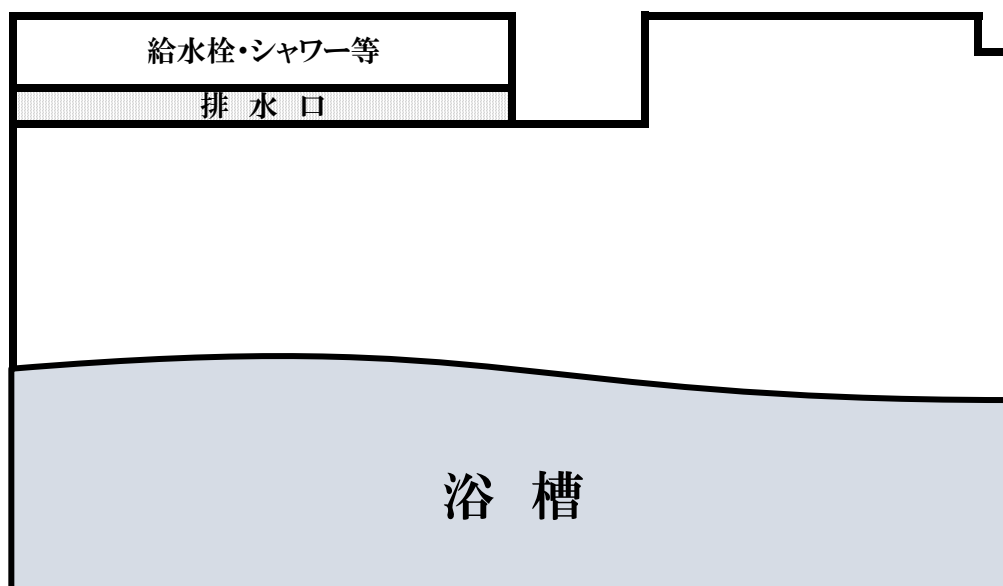
TEL (0791)62-0088 FAX (0791)62-4698

## 『湯ったりたたみ』 施工要領書

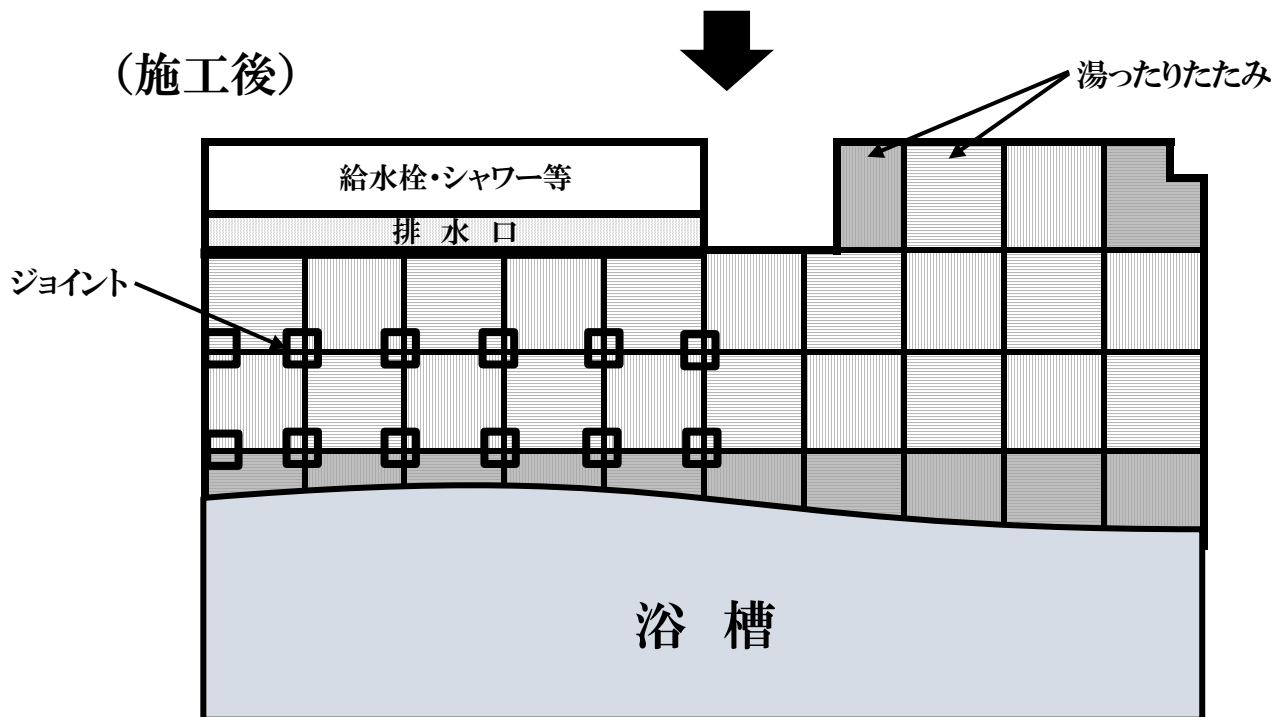
- 本商品は、規格サイズの畳を現場にて寸法に裁断することにより調整し、敷き込むものとなっております。下記例を参考に出来るだけ裁断する箇所が少なくなる様な配置にしてください。  
裁断面は強度が落ちますのでなるべく壁側、浴槽壁側になるように敷き込んで下さい。
- 全面敷き込みを標準としておりますが、排水口等により敷き込みできない場合はジョイント部材を使用して下さい。
- 敷き込み方は市松敷きが基本となります。

### 施工例

(施工前)



(施工後)

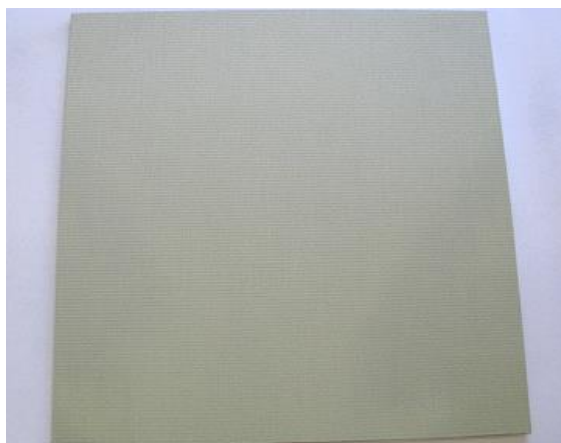


\*  に塗りつぶした畳は裁断が必要な畳。

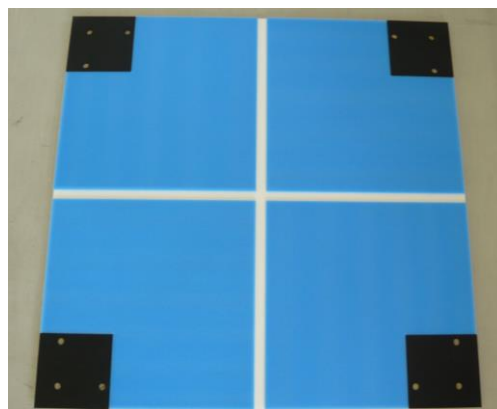
## 1. 施工手順

### 1.1 敷き込み

裁断しない部分の畳を敷き込みます。排水口などにより壁際まで敷き込みが出来ない箇所については、ジョイント部材が必要となります。(後述参照下さい)



湯つたりたたみ 表面



湯つたりたたみ 裏面

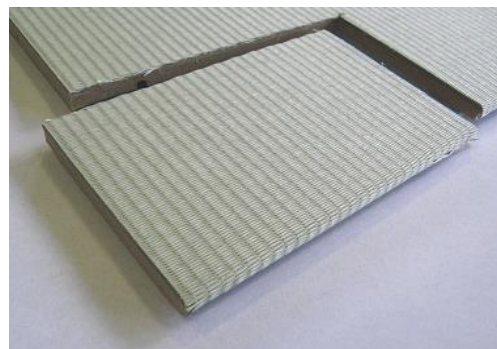
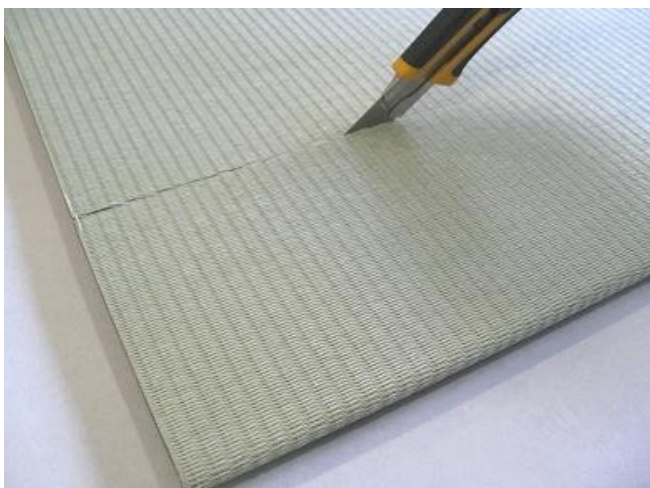
### 1.2 寸法加工

寸法調整が必要な畳を加工します。

#### ① 裁断

部屋の形状に合わせてカッターナイフ等により畳を裁断します。

なるべく裁断面が壁側、浴槽壁面になるようにして下さい。(裁断面は強度が落ちるため)



#### ② 畳表のほつれ止め



畳表のほつれ止めのため畳表の裁断部に瞬間接着剤を施します。

### ③ 仕上げ、ほつれ止め



裁断面の仕上げと畳表のほつれ防止のためにはんだこて、アイロンなどで畳表の端面を溶かします。(温度は230℃程度が適温です)(畳は樹脂材にて構成されております。必要な箇所以外に接しないように注意して下さい。又、やけど等にも注意して下さい。)

以上にて寸法加工処理は終了です。

※出入り口のグレーチング部など敷き詰めが出来ない箇所で段差が出る場合は市販のスロープ材を使用していただくなどつまづき防止の対応を施してください。

## 2. ジョイント方法

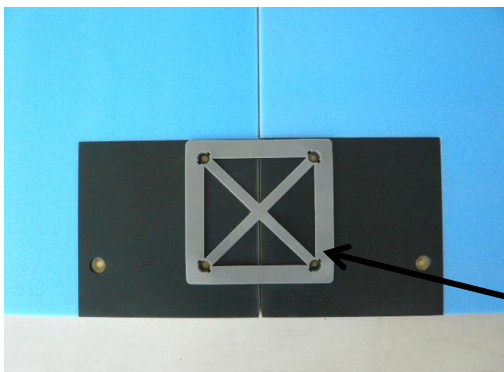
排水口等により敷き詰めが出来ない部分の畳は、ずれ防止の為畳同士を接続する必要があります。同封しておりますジョイント材にて接続します。(接続箇所については施工例を参考にして下さい)



ジョイント材

### ① ジョイント材取付

接続する畳の1枚にジョイント材を取付ます。畳裏面の穴にジョイント材の突起部を押し込んで下さい。4枚を接続する場合は一番角にある穴1箇所を、2枚接続する場合は2箇所の穴で接続します。



ジョイント材は奥まで押し込んで下さい。キッチリ押し込んでいないと畳に段差が発生する可能性があります。

ジョイント材

### ② 畳のジョイント

ジョイント材を取り付けた畳を敷き込みます。次に接続する畳の裏面の穴とジョイント材の突起を合わせ、上から押し込んで下さい。



ジョイント材